

科目名				授業の種類	授業担当者
実習デザイン I				演習	宮原千秋
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1	1	30	15	後期	幼免：選択 保育士：選択
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園実習の意義・目的を理解する。 2. 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 					
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園実習の意義 <ul style="list-style-type: none"> (1) 実習の目的 (2) 実習の概要 2. 実習の内容と課題の明確化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 実習の内容 (2) 実習の課題 3. 実習に際しての留意事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) プライバシーの保護と守秘義務 (2) 実習生としての心構え 4. 実習の計画と記録 <ul style="list-style-type: none"> (1) 実習における計画と実践 (2) 実習における観察、記録及び評価 5. 事後指導における実習の総括と課題の明確化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化 					
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>意欲的に取り組むこと 提出物の期限を守ること</p>					
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>(チャイルド本社) ・幼稚園教育要領解説(文部科学省) ・保育者になる人のための実習ガイドブック(萌文書林) 			<p>[評価基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講態度(出席状況含む)・幼稚園実習関連提出物 		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		実習の意義と目的		
2	実習の内容と留意事項		事前打ち合わせについてや実習への心構えについて		
3	教育実習事前準備 I		実習の指導計画作成と事前準備		
4	教育実習事前準備 II		実習の指導計画作成と事前準備		
5	実習のまとめ		実習報告書作成と報告会の準備		
6	実習報告会		実習を具体的に振り返り課題を明確化する		
7	領域研究 I		領域「健康」について		
8	領域研究 II		領域「人間関係」について		
9	領域研究 III		領域「環境」について		
10	領域研究 IV		領域「言葉」について		
11	領域研究 V		領域「表現」について		
12	教材の研究と指導計画 I		小麦粉粘土の性質を知り素材研究をする。保育にどのように活かすか指導計画を立て実践する。		
13	教材の研究と指導計画 II		身の回りにあるものの素材研究する。保育にどのように活かすのか指導計画を立て実践する。		
14	教材研究と指導計画の振り返り		それぞれの研究の振り返りとまとめ		
15	まとめ		実習の総括と自己評価		
実務教員としての経歴		幼稚園教諭として幼稚園に勤務8年 (うち認定こども園で主幹保育教諭として1年)			
実務経験と授業の関連		幼稚園教諭としての経験を活かし、保育者を目指す学生たちの実習に必要な知識と技術を養う。			